生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	**本邦における術後食道炎の実態調査**		
1. 研究の目的と方法	【本研究の目的】幽門側胃切除術、幽門保存胃切除術、胃全摘術、噴門側胃切除術および胸部食道亜全摘術について、術後食道炎の実態調査を行うことです。 【方法】(1) 各術式における術後食道炎の発生率と重症度、(2) 術後食道炎の発症時期、(3) 術後食道炎の症状、(4) 再建方法による術後食道炎の発生率、(5) 術後食道炎に対する薬物治療の実態、(6) 薬物治療の転帰、(7) 術後食道炎に対する外科治療例の詳細、をカルテ調査します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2025 年 12 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2020 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日の 1 年間に東京慈恵会医科大学附属病院にて食道切除術または胃切除術を受けた方		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、術式、性別、年齢、身体所見、検査結果（内視鏡検査）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学外科学講座　上部消化管外科
		氏名	矢野　文章
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3) 当施設の試料・情報の管理責任者	(1) の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	①八木　浩一　東京大学大学院医学系研究科消化管外科学講師 ②岩切　勝彦　日本医科大学　消化器内科学　教授 ③眞部　紀明　川崎医科大学　検査診断学（内視鏡・超音波）教授 ④佐伯　浩司　群馬大学総合外科講座　消化管外科学分野　教授 ⑤山田　和彦　国立国際医療研究センター病院　食道胃外科　診療部門長・副院長	

6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究で収集・取得された試料・情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(1)に記載された研究代表者のもとに、以下の方法で集められます。 提供方法：追跡可能な方法で郵送、またはパスワードを掛けた電子ファイルをメール送付 試料・情報の利用または提供予定開始日：2023 年 10 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学　外科学講座　上部消化管外科 研究責任者：教授　矢野　文章（やの　ふみあき） 窓口担当者：助教　増田　隆洋（ますだ　たかひろ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3401） 対応時間：平日午前９時～午後４時

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。